

平成17年度 事業評価書

地 域 名	長野県飯田市	選定年度	H16年度	事業規模	大規模事業
まちづくり協議会名	飯田市環境協議会				
モデル事業名	環境時代のグローバル(環境と地域経済の融合)推進事業				

1. 事業の実施状況

委託事業	H16年度	普及啓発事業として、自然エネルギー大学校セミナーやバイオマスシンポジウムを開催したほか、戸建住宅に係るエネルギー消費量とCO2排出量のLCA手法による評価を実施。
	H17年度	普及啓発事業として、自然エネルギー大学校セミナーや省エネ住宅に係るシンポジウムを開催。
交付金事業	H16年度	公共施設を中心に自然エネルギーの活用と循環型社会を目指し、公立全小中学校等に木質ペレットストーブ等を設置。 市民の共同出資により保育園等38カ所の公共施設の屋根に太陽光発電設備を設ける、太陽光市民共同発電事業を実施。 地域特性を生かした環境共生住宅モデルとして、共同住宅に太陽光発電設備とペレットストーブボイラーを設置。
	H17年度	保育園や交流センター等に木質ペレットストーブや薪ストーブを設置。また、風の学舎にウッドボイラーを設置。

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	<p>太陽光市民共同発電事業は、設置費用を交付金のほか市民出資で賄っており、太陽光発電により得た収入を事業の運営及び出資市民への分配するという、市民を巻き込んで継続する仕組みを構築しており、新たな地域システムづくりとしてのモデル性を高く評価する。整備した設備を地域における環境教育に積極的に活用している点も評価でき、住民の環境教育への意義も大きい。市民出資は、民力を引き出すのに非常に重要であり、今後の様々な展開を期待する。</p> <p>木質ペレット事業は、森林管理に目を向けることが出来、森林保全効果を生む点を評価したい。間伐材切り出しに経済的効果を与えたことも意義深く、森林日本のモデル性を有している。地域内に既にペレット製造施設があることから、当該施設と連携し木質バイオマスの地域における利活用のシステム構築を目指すとともに、導入した施設を活用した普及啓発を行い、その取組が地域全体に波及することを期待する。</p>									
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2">二酸化炭素排出削減効果</td> <td style="text-align: center;">備 考</td> </tr> <tr> <td>目 標 値</td> <td>1,065</td> <td>H16年度事業分</td> </tr> <tr> <td>実 績 値</td> <td>257</td> <td>H16年度整備施設のH17年度稼働実績</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(目標値・実績値単位:t-CO2/年)</p> <p>太陽光市民共同発電事業については、概ね妥当な成果が得られていると思われる。 木質ペレットボイラー・ストーブについて、目標の設定が適切でなく検討が必要。</p>	二酸化炭素排出削減効果		備 考	目 標 値	1,065	H16年度事業分	実 績 値	257	H16年度整備施設のH17年度稼働実績
二酸化炭素排出削減効果		備 考								
目 標 値	1,065	H16年度事業分								
実 績 値	257	H16年度整備施設のH17年度稼働実績								
③経済活性化効果	<p>太陽光市民共同発電事業について、売電収入のほか、グリーン電力証書の販売も見込んでおり、また、設備設置の自己負担分は市民出資で賄うなど、経済的観点からも評価できる。</p> <p>木質ペレットボイラー・ストーブについて、ペレット購入量をもとに灯油換算額を算出し、灯油換算額とペレット購入額の差から、灯油代削減額を求めており、一定の効果を得ているが、その効果は灯油・ペレット価格の推移や設備の使用状況等により変動するものであり、その点も踏まえた検証が望まれる。</p> <p>木質ペレットの定着には時間がかかるが、太陽光を含め、新エネルギーを積極的に支援するための組織や仕組み作りに取り組んでおり、効果を期待したい。</p>									
④その他	<p>地域外のシンポジウム等でもまほろば事業による活力ある地域作りについて積極的に発信しており、モデル事業としての役割を果たしている点を評価する。</p>									